

令和2年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	17-	5
---------	-----	---

事業名	文化事業イベント経費		会計	款	項	目
			一般	10	5	2
施策	3	心豊かなまち	課名	社会教育課		
	3-2	文化のかおるまちをつくる	係名	生涯学習係		
	3-2-1	多様な文化・芸術活動の支援				
主要施策	②文化イベント等の充実					

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	様々な文化事業を行い、町民が文化に触れる機会を提供する。
事業内容	こども歌舞伎公演、東員「日本の第九」演奏会、音楽祭、ミュージカルの参加型の文化事業を開催することで、町民にさまざまな文化に触れる機会を提供する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)	
1	文化イベント入場者数 (平均人数) 年間入場者数/イベント数	560	563	1004	人	↑	600	
2								
3								
4								
5								
			令和元年度 (決算)		令和2年度 (決算)		令和3年度 (予算)	
全体事業費 (千円) A+B			23,377		16,555		29,390	
財源内訳	直接事業費 A		20,791		13,969		26,342	
	うち一般財源		16,725		11,821		22,422	
人件費 (千円) B			2,586		2,586		3,048	
内訳	一般職員 (人・千円)		0.31	2046	0.31	2046	0.38	2508
	臨時職員 (人・千円)		0.30	540	0.30	540	0.30	540

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	B削減の余地がややある
総合評価	Ⅲ 要改善 (少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	3大文化事業のチケット収入増に努める。	③取組の課題	文化事業や古典芸能への関心が低いことから、幅広い層への情報発信等を継続的に講じる必要がある。
②R2年度に実施した取り組み	「こども歌舞伎公演」・「日本の第九演奏会」は中止、「ミュージカル公演」・「音楽祭」を感染症対策を講じて行ったがチケット収入は減額となった。	④今後の改善計画	町の伝統文化や古典芸術等の魅力を幅広い年齢層に情報発信し、身近に触れあえる機会を提供する。